

【模範解答】

①

日本史

受験番号				氏名	

1

問1	(1)	イ	ウ	(2)	エ	キ	(3)	二官八省			
	(4)	太政官									
問2	(1)	位階				(2)	貴族				
	(3)	蔭位				の制	(4)	官位相当			制
問3	(1)	制度	冠位十二階				王族	厩戸皇子（聖徳太子も可）			
	(2)	エ	(3)	憲法十七条				(4)	ウ		

2

問1	小池百合子				問2	(1)	イ	(2)	レーニン		
問3	(1)	フランス				(2)	ウ				
問4	(1)	美濃部達吉				(2)	イ				
問5	(1)	オ	(2)	選挙制度	小選挙区制(度)			人物	原敬		
問6	(1)	エ	(2)	ウ	問7	憲政の常道					
問8	(1)	エ	(2)	死刑（死刑が実現した／最高刑が死刑に引き上げられた）							
	(3)	満（18）歳以上の（男女）に選挙権が与えられている									

3

問1	エ														
問2	(1)	イ													
	(2)	イ	奴隸制存続と自由貿易												
		エ	保護貿易を望み、奴隸制には批判的												
	(3)	アヘン													
問3	ウ	問4	(1)	ウ	(2)	イ	問5	(1)	ア	(2)	ウ				
問6	(1)	ア	(2)	ウ	問7	(1)	イ	(2)	エ	(3)	ウ				
問8	(1)	エ													
	(2)	手織りの綿織物とその道具は、工業製品に													
		よって国内経済が破壊され、支配される前													
	のインドを想起させるから										問9	(1)	ウ	(2)	エ

[問8(2)の別解答例]
手織りの綿織物はイギリス統治前のインドの基幹産業であり、
民族の誇りを思い起こさせると考えたから

2025年度一般入試 A 日程

— 傾向と対策 —

日本史

出題のねらい

高等学校の『歴史総合』および『日本史探究』の教科書で学習する範囲を中心に出题しています。基本的には、歴史を学ぶ目的を理解し、具体的な事実を正しく認識しているかどうかを重要視しています。新課程になり、現代的な課題とのつながりで歴史を理解する力の育成が求められていることも含めて、単なる人名や年代の機械的な暗記ではなく、日本と世界各国の国際的な関連や、どの同時代性に着目し、把握・理解していくことが必要となります。

出題形式・内容（分野）について

出題の形式は、次の3つのパターンで構成されています。

- ①文章や史料の空欄の部分に語群や選択肢から正解を選んで充当する。
- ②文章や史料を読んで下線部分の設問に解答し、空欄を補充する。
- ③文章や史料を読んで、歴史事象の特徴を文章で記述し、解答する。

内容は、政治・外交・経済・文化にわたり、テーマに即してそれらの分野が組み合わさって出題されています。

[1] は、古代の史料の理解をみるものです。[2] は、日本を軸とした選挙制度について、世界史や現代との関連もあわせての理解をみるものです。[3] は、綿という服飾素材と歴史との関わりについて、世界史、日本史の両面から考えてもらう問題です。出題される用語は基礎事項にしばってありますが、出題の仕方に工夫をしたため、注意力と推理力が必要となります。ただし、問題文全体を正確に読みとって設問にあたれば、難なく解ける問題となっています。

採点後の感想・効果的な学習方法

基本となるのは『歴史総合』と『日本史探究』の教科書をもとにした、バランスのよい学習です。重要な歴史事象を覚えるだけでなく、その事象の歴史について（今回では選挙制度や綿）他の国ではどうだったのかということを比較した表をつくる学習をすすめることで、正誤問題等での得点アップが望めます。また、正しい読み取りや書き取りを繰り返し行い、文字の記述ミスなどのケアレスミスを減らすと、得点も伸びるでしょう。そして、多くの論説文に触れ、きちんと文意をとる練習をしておくことも重要です。さらに、史料がどのような歴史事象を表しているのかという問題について丁寧に学習することは、探究する力を伸ばすことにつながるでしょう。近年は、未見の史料・データと歴史事象を融合させた問題も多く出題されますので、下線部以外の文章の読解や提示されているデータやグラフの中から解答のヒントをつかむ訓練を積むと、より複雑な出題に対応できると考えます。